

予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第1号 令和4年度鈴鹿市一般会計予算



3月14日
(午前)



3月14日
(午後)

天名地区に新消防分署を建設

○消防施設整備費 5億206万円

【概要】 天名地区公共施設一体整備事業として、新消防分署および天名分団の施設整備を行うもの。

質疑 開署予定の新消防分署はどのようなものか。

答弁 建物の概要は、鉄骨造、平屋建て、延べ床面積867.89㎡で、南部地域の消防体制の強化を図る施設として、消防分署および分団施設を建築するものである。内訳については、建築、電気、機械、外構工事を含む消防庁舎等建設工事費として4億2,972万8,000円、庁用等施設備品購入費として3,500万円、指令端末装置等設置業務委託などの消防施設等設置業務委託として3,107万8,000円、設計管理委託料として305万円、消耗品費として288万1,000円、医療材料費として32万3,000円である。人員については、鈴峰分署と同様に分署長を含めて、13名配置する予定である。車両については、消防車1台、救急車1台を配備する予定である。



新消防分署のイメージパース

マイナポイントの申し込みをサポート

○マイナポイント申込支援事業費 1,878万9,000円

【概要】 マイナポイント事業の予約・申し込みに係る操作支援窓口の業務委託および事業の啓発のための広報を行うもの。

質疑 前年度と比較して増額となったのはなぜか。

答弁 令和4年度も、マイナポイント申込支援窓口を民間事業者へ委託し開設する予定である。健康保険証利用申し込みや公金受取口座の登録によりマイナポイントが付与される項目が増えるため、問い合わせが増加することを想定し、現状3名の窓口人員を4名に増員することによる増額である。また、このマイナポイント付与の啓発のための広報費用として220万円を計上するとともに、申込期間が長期になるため、その分の経費も増加している。

